

ANA沖縄貨物ハブ & 航空ネットワーク



2012.11.16

ANA ANA CARGO

1、「沖縄県の政策」と「ANAの事業戦略」の一致



→ 2007年7月5日 那覇空港の国際物流拠点形成に関する基本合意書締結

⇒官民共同プロジェクトの成功モデルケースを目指す

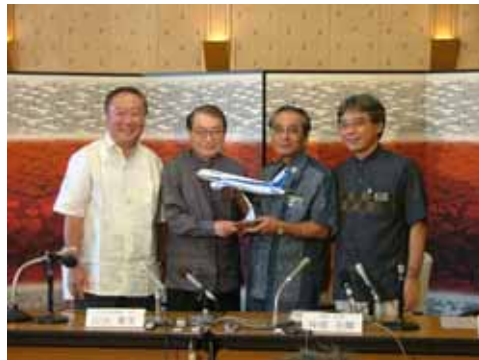
国際貨物拠点で合意

那覇とアジアの中継基地に

那覇空港

ANA

出典:琉球新報2007年7月6日



2、ANA沖縄貨物ハブ & 航空ネットワークの特徴



那覇空港を基点に日本とアジアの主要市場を結ぶ新・航空ネットワーク。

- 那覇空港を基点に、貨物専用機 (B767-F) を主要8都市へ深夜運航。
- 羽田経由で日本国内の主要都市への接続もスピーディ。
- アジアの主要都市から主要都市へ、アジア域内間の急送ニーズにも対応可能。



3、ANA沖縄貨物ハブ 使用航空機



Profile BOEING767F/767-300BCF

- Aircraft Owned : 9
- Length: 54.9m Height:15.9m
- Payload Capacity: 50tons

B767-300BCF (7)

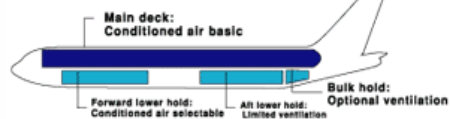


• Converted from ANA passenger aircraft

B767-300F (2)



■ B767-300 Freighter



Main Deck



AAX Container



Side By Side Configuration



4、ANA沖縄貨物ハブ & 航空ネットワークの優位性

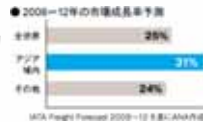


今後も成長が期待されるアジア市場を網羅。
さらに拡大していく、充実の航空ネットワーク。

1.「運航ダイヤ」に強み

B767-300フレイターで日本を含むアジア主要都市を22～24時台に出発。「沖縄貨物ハブ & 航空ネットワーク」を経由し、翌朝5～8時台には各目的地に。物流事業者の皆様のエクスプレスに最適な運航スケジュールで高速輸送を提供します。

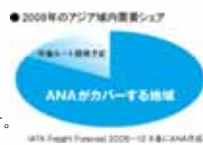
対象地域における輸需要は、今後世界でもっとも高い成長率が予測されています。



2.「アジア域内間の輸送」に強み

「日本→アジア間」のみならず、「アジア→アジア間」の輸送にも対応することができ、海外発の商品力の強化を可能にします。また、域内で事業展開をしている製造業等の荷主の皆様へのサプライチェーン・マネジメントへのニーズにも高いレベルで応えることができます。

対象地域における輸需要は、アジア域内の航空貨物需要の大半をカバーします。

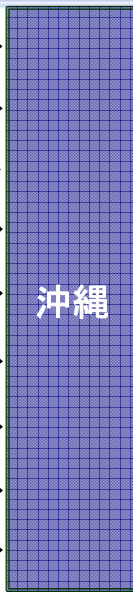


5、ANA沖縄貨物ハブ 運航スケジュール 2012年10月28日～2013年3月30日



★月・火・水・木・金・土出発

*1	羽田	2400	0250
*2	成田	2220	0130
		2230	0140
	関西	2405	0220
	上海	2435	0340
	香港	2410	0330
	台北	2325	0150
	ソウル	2350	0155
	バンコク	2200	0410



★火・水・木・金・土・日出発

0450	0700	羽田
0530	0750	成田
0600	0820	成田
0630	0815	関西
0340	0455	上海
0515	0655	香港
0615	0655	台北
0510	0725	ソウル
0520	0805	バンコク

LOCAL TIME *1:B777・B787で運航、*2:NH8405 1/1-1/27 運休、

*3:NH8406 1/2-1/28 運休

6、日本各地を結ぶ航空ネットワーク



沖縄貨物ハブ&航空ネットワークは、エクスプレスの航空輸送に最適。

1.「国内地方発着」に強み

日本国内の主要地方都市との間も、同業他社よりも「遅い集荷」、「早い配達」が可能。高まる地方発着の輸送ニーズにも的確に対応することができます。



2.「通関」に強み

- **沖縄の通関**：日本発着の貨物を那覇空港で通関することにより、出発地・到着地におけるリードタイムのさらなる短縮が可能です。
- **羽田の通関**：羽田空港で通関することにより、首都圏のみならず日本国内の各都市からの出荷についても従来より遅い出荷が可能となります。
- **関西の通関**：関西空港で通関することにより、関西圏のお客様のニーズにも対応することが可能となります。

7、ANA沖縄貨物ハブ施設



那覇空港ANA貨物上屋の周辺概要と、国際貨物ハンドリング概要。

日本を含むアジアの各主要都市から、那覇空港に一旦集荷された貨物を、独自の「沖縄ハブ&スポーク方式」により、短時間で効率的に積み替え、アジアの各主要都市に輸送。



航空貨物スペース確保事業 について



2010年度

仕向地	コンテナ台数	重量(t)
香港	178	116.3
上海	5	1.6
台湾	5	2.7
韓国	7	4.8
合計	195	125.4

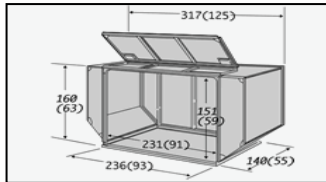
2011年度

仕向地	コンテナ台数	重量(t)
香港	245	159.8
上海	6	1.4
台湾	18	10.2
タイ	61	40.3
韓国	2	0.8
合計	332	212.5

2012年度(上期)

仕向地	コンテナ台数	前年比	重量(t)	前年比
香港	137	112%	94.3	119%
上海	1	50%	0.5	329%
台湾	9	129%	4.6	131%
タイ	37	128%	27.1	147%
韓国	2	200%	1.1	282%
合計	186	116%	127.6	125%

スペース確保事業使用コンテナ



<コンテナ仕様>

- ・容積;7.2立方メートル。
- ・約1,000kgの貨物を搭載。
- ・常温仕様
- ・サイズ(内寸cm)
縦X横X高=140X231X151

航空貨物スペース確保事業推移 (2009年12月~2012年9月)

